



Sasayama Elementary School

# 学校だより

自分大好き、友だち大好き 進め！笹山の子

平成31年 4月26日発行

平成31年度 第2号

横浜市立笹山小学校

TEL 382-1161 FAX 381-7384

## 進め！ 笹山の子

学校長 荻原 規彦

給食初日のことです。いつもは給食室で環境委員会の児童が給食の受け取りを手伝ってくれますが、この日はまだ委員会活動が始まっていません。しばらくは教職員が手伝えばいいと思って給食室に行ってみたところ、去年まで環境委員だった児童が白衣に着替えて、「次が決まるまで自分がやります！」と自主的に手伝ってくれました。学校全体のことを考えて率先して行動に移す姿を見てとてもうれしく思い、朝会の中で、他の人のためにすることの大切さの例として、紹介しました。低学年からの学級の係活動、高学年の委員会活動、そして、中学校の職業体験へとキャリア教育はつながっていきます。笹山小学校は児童の人数が少ないので、一人二役も三役もこなさなければなりません。その中で自ら考えて行動する態度が育っていることが、笹山小学校の良さの一つとも考えられます。これからも『進め！ 笹山の子』であってほしいです。

話は変わりますが、5年生の理科の実験でのこと。振り子は振れ幅を変えても往復する時間は変わらないことを確かめる実験を行いました。大人にとっては知っていることと思います

が、この現象を、子どもに分かりやすく説明することはなかなか難しいです。運動力学的に説明しようとするれば、重力や三角関数までもち出さなければなりません。振り子は時計に使われていると教えてくれた子どももいたようですが、時計の振り子の下のねじをほんの少し回して、時計の進み具合を調節した経験のある子どもはほとんどいないでしょう。

小学校の段階では、「何だか分からないけれど」こんな現象があるということ、実験を通して体験的に知るものがあります。「あれ？ どうしてだろう？」という疑問をもち続けることが探求につながる力になると思います。いろいろな実験や体験を通してその現象を記憶にとどめ、次の理解につなげてほしいです。

柱時計を使っていた昭和から平成を経て令和に元号が変わります。子どもたちは元号が変わっても、時代が変わっても、健やかに育ってほしいと願うばかりです。

